

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	0350/503005/04/00		事業の種類	4	
年度	19	事務事業名	学校体育振興事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名		学校体育振興事業	担当部課名	学校教育課			
政策名		愛着と生きがいを育むまちづくり					
施策名		小・中学校教育	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の健康づくり及び体力向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校では、校内マラソン大会やなわとび検定及び泳力検定等により、児童の健康及び体力づくりを推進する。 中学校では、運動部活動や体育大会への参加等により、生徒の健康及び体力づくりを推進する。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.125	0.125	100.0	0.125	100.0	0.125	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内 訳	人件費	2,068,108	1,788,384	86.5	1,827,210	102.2	1,774,072	97.1	
	事業費	2,538,927	2,846,069	112.1	3,642,015	128.0	3,971,000	109.0	
	合計	4,607,035	4,634,453	100.6	5,469,225	118.0	5,745,072	105.0	
財源内 訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	4,607,035	4,634,453	100.6	5,469,225	118.0	5,745,072	105.0	
	合計	4,607,035	4,634,453	100.6	5,469,225	118.0	5,745,072	105.0	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県大会以上の大会出場状況							
指標説明(式)		中学校生徒の県大会以上の大会出場による普段の部活動成果の向上の把握							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
件	目標			5	5	100.0	5	100.0	
	実績		8	#####	5	62.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1	中学校生徒の市内・西播磨等体育大会への参加								
指標説明(式)	中学校部活動をととして、体力向上及び健康増進の向上を図る。								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	小学校では、校内マラソン大会やなわとび検定等により児童の健康及び体力づくりを推進した。中学校では、運動部活動や体育大会の参加により生徒の健康及び体力づくりを推進した。	4	4
	市民ニーズ	児童・生徒の健康づくり及び体力向上を図った。		
有効性	成果目標(改善)達成度	児童・生徒の健康づくりの推進及び体力向上を図った。	4	4
	市民サービス	健康づくり等の推進による児童・生徒の健全育成を図った。		
効率性	コストの節減	旅費規程の運用により、経済的最短経路を活用し、補助金のコストの抑制に努めた。	4	4
	手段の最適性	用具のいらない健康づくりの推進。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	児童・生徒の均整のとれた体力向上を図る。

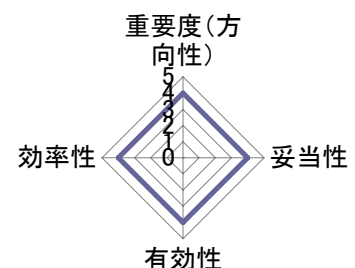
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	児童・生徒の均整のとれた体力向上を図る。
H19→H20予算反映額		328,985

(2) 20年度の実施方針

児童・生徒の均整のとれた体力向上を図ることを目的とした効率的な手段の活用を図る。
--



検討の有無	—
総合指標	22